

栄螺堂（サザエ堂）

前回は五重塔についての思いを書きましたが、今回は会津若松市にある会津サザエ堂（旧正宗寺三匝）関係についてです。

会津サザエ堂は、今まで3回訪ねています。最初は、大学のクラブ活動で夏の合宿において、そして事務所の旅行、3回目は、懇意にしている大工さんと見学しました。

この建物の建立は、1796年（寛政8年）で外観は、常識的感覚では不思議な形態をしていて基本形を認識し難いのです。まして正面に立つと本体の平面が六角形の塔に玄関の庇が飛び出ているため形態がゴチャゴチャしているのです。しかもそこには大蛇の彫刻などが絡んでいるのです。



会津サザエ堂

その玄関の階段を登ると目の前に階段状のスロープが目の前に伸びていて、それは右に六角形の角120度折れ曲がりながら上に登って行ける内部空間になっています。そのスロープを登り詰めると、今度は、下りのスロープがあり先と逆回転の左回りで下って行きます。出口は、上りとは反対側に出ます。



入口



上り始め



中心側



頂上とその天井

この塔は、昔は順路に沿って三十三観音や百観音が、中心側に配置されていて巡礼が叶う構成になっています。仏教の右繞三匝（うにようさんぞう）の礼法に基づいて右回りに3回匝る（めぐる）ことができる参拝方式から三匝堂（さんそうどう）というとのこと。螺旋構造や外観がサザエににていることから通称「栄螺堂」「サザエ堂」と呼ばれています。

このような建物は他にあるか調べたところ、ウィキペディアに八軒リストアップされ、そのうちの二軒は最近の新しく出来たものとなっています。

螺旋の構造が面白いので以前、下記の三寺院を見学をして回りました。

長禅寺三世堂 茨城県取手市		1801年（享和元年）再建	茨城県指定有形文化財
成身院百体観音堂 埼玉県本庄市		1911年（明治44年）再建	本庄市指定文化財
曹源寺本堂 群馬県太田市		1793年（寛政5年）～、 1798年（寛政10年）	国の重要文化財 2018年12月に指定

これらの建物の内部構造は、螺旋ではなく矩形の建物の中にスロープが作られていました。ただ、本庄の成身院を訪ねましたがお休みに拝観することができなかつたため再度訪問をしたいと思います。

江戸時代には、サザエ堂がかなり建っていたようですが、現在は会津サザエ堂のような構造の塔は、会津にだけしか残っていないのは残念なことです。

会津さざえ堂、 会津栄螺堂	1796年 （寛政8年）	福島県会津若松市	重要文化財（1995年 6月27日指定）
------------------	-----------------	----------	-------------------------



円通三匠堂（さざえ堂）実測図 日本大学理工学部建築史研究室

上記図は、<http://www.zenjukyo.jp/activity/data/091114sazaedo.pdf>より

写真はウィキペディアよりお借りしました。2020.15